第六號 No. 6 The Woman's Weekly December 10, 1915 (大正四年十二月十日)

婦人週報

主幹 小橋三四子 編輯主任 松本雲舟 (大正四年十一月四日第三種郵便物認可) (毎金

婦人週報 第壹巻第六號

目次

共鳴を覺ゆる劇中の婦人……小橋三四子
週評
時事
風俗改良團を起すの議……藤田斬雲
棄てられたアイヌ……三四子
一人一評——幸田延子
女湯改良論(承前)……石井保安
課長、山室軍平、小崎千代子
家庭に於ける森村翁
小兒の死亡(二)…內閣統計官二階堂保則
寄生論(完)……雲舟生
オハナシ——笛……巣鴨村人
子供の智慧
小說「奴隷」……松本雲舟
慰安錄…先妻の養女の嫁入口
生きた鷄卵と死んだ鷄卵(下)
お正月の料理……柳葉淸子
迎年準備の手まわし……田中芳子
寄稿の整理
暮に賣行きよき花……晩香生
主婦の手帳
婦人の聲…父の冷水浴、無信仰の不安、謠習會と芝居
婦人スケッチ「襟卷と丁稚」
新刊紹介……銀と藍、醒めたる女、

共鳴を覺ゆる劇中の婦人

小橋三四子

△「醒めたる女」

私は此頃本社に寄贈された坪内博士譯の「醒めたる女」を讀んで見ました。久しく衰微の姿にあつた英國の劇界に一度期に勃興の機運が來たといふ最近二十年間に、最も抽んでたる劇作家であつたハンキン氏の傑作と云はれて居る丈けに、今迄目に觸れたイプセンやメーテルリンク、ショー等とは、多少の趣を異にして居る問題に出逢ひました。讀了後初めに掲げられた緒言を讀みますと、其の問題はもうすつかり譯者によつて、明快に精細に論ぜられて餘蘊なしといふ風であります。此處には只讀過の際共鳴を覺えた一點を述べて見たいと思ひます。

△徹底的な婦人

この劇によつてハンキン氏は「女性と弄ばれたる貞操との關係」「女子の自覺の新解釋」を與へたものと云はれて居りますが、これを解決するに描き出された主人公ジャネトの性格は、これ迄の劇に見るやうな奇矯な、ヒステリックな、もしくは芝居氣の多いものとは違つて、極めて尋常な、然し強い、理性的な、どこ迄も責任を完うする、公明正大な、徹底的な婦人であるのを見て、初めてよいお友達に會つたやうな氣がして、この人とならば、握手して共に進んで行きたいと思ひました。

△棄てられて

ジャネトは名望ある郷士の女でありましたが、廿七といふ歳に、初めて年若き青年と戀に落ちました。束の間の歡樂は忽ち女の身に取つての一大事を醸しましたが、その時は早くも男は遠く旅に出でその心迄も離れて居りました。女はもとより責めを他に歸し、若しくは人を頼る事を喜ばない計りか凡ての拘束を離れて、自分の主義を充分に發揮したいとの祈願から遠く親の家を逃れて倫敦に走りました。其處にて男兒を生み落し、世間には未亡人と稱して信用を得、

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA
Digitized by Google

（毎日發行）
發行所 東京市牛込區市谷田町二丁目十七番地
發行兼編輯人 小橋三四子 印刷人 小橋三四子
印刷所 東京市京橋區銀座四丁目一番地 福音印刷合資會社東京支店

嘗て用意して居つた五百ポンドの資金を投じて、傾きかけた帽子屋の女主人と組合員となり、その店を立派に盛り返して、豐かに生活の資を得て行きます。そして全心を傾けて敎養する愛子の、身も心もすが〳〵しく生ひ立つのを、この上なき喜びとして、甲斐ある年月を送つて居りました。

△因襲を脱す

八年後初めて愛兒と共に故郷に歸りました。面目を第一と思ふ兩親や妹、伯母等は、只管家名を傷けた不貞の女、他郷で商賣人なんぞに成り下つた者といふ事を、酷く詰つては居るもの丶、兩親は可愛い孫の末賴しい風貌を見ては、どうかしてこれを後繼としたい。それには私生兒の憂き名を負はせぬやうに父なる人を探し出して、娘をこれと結婚させやうと、勝手のよい事を、因襲に囚はれた僞善の道義に隱れて行はうとする。

△勇氣と智慧

一方昔の戀人は、シャネトの歸鄉後三日目に、他の女と婚約をするのでありましたが、圖らずこの事實を見せられたジャネトは、もうとくにわが良人とするに足らぬと見限つた人に、未練も無ければ嫉妬や怨恨も無い、やがて母の心を盡しての賴みも、父が親權を以ての命令にも、耳をも籍さず、妹にも兩親の面前に於て大膽に己の主義を吹き込みます。理解の無い妹は「姉さんは女は誰れでも姉さんと同じに不品行をするもの丶やうに思つてるんでせう」といふに答へて「いゝえ、ヘスター、ちがひます。わたしが爲たやうにするには、勇氣も智慧も要ります。それから五百ポンドが要ります」と申します。そして家名や精神の枯れた道德に囚はれて、大事な一生を束縛して居る人々を一喝して「ブレンドンにゐると、息が窒つちまひます。幽靈が多過ぎますよ」と云つて、決然としてまた愛子を伴ひ倫敦に歸るといふのです

△主義と責任

人の一生には災もあれば、誤りもあることは免かれません。誤つて女が貞操を弄ばれたる場合なざには、その人は慚愧と共に、自己を表白して新らしく立つ勇氣も無く、社會上からも全く生命を絶たれて終ひます。更らに半可通の新らしき女なざによくある類ひの或る程度迄主義のあるらしいことを吹聽しながら、その行爲から起る結果に就ては、全く責任を逃れやうと致します。甚だしきは口に筆に稱へる自分の主義を、いざ實行しやうとする場合に起る困難や壓迫を恐れて、因襲的な習慣や道德の船に乘つて、安々と渡らうとします。何れも表裏あり、不徹底無責任な生活を續けて、疚ましひとも、生き甲斐が無いとも思はぬこのやうな人々にとつて、ジャネトは、一つの爆彈を投じたものと云つてよいと思ひます。そして眞の意味の新らしい女は、これ程の智慧と、勇氣と、實行力とが入用で、かくて初めて社會に淸新な生命を與へて行くことが出來るのであると思ひます。

週評

▲**澄宮御誕生** 皇后宮御安產の吉報に國民は安堵の胸をなでおろしました。殊に第四皇子の御誕生と聽いては、わが皇室のいやます御繁榮を思ふて、雙手をあげて快哉を叫ばぬものはありません。この上とも皇后宮の御健康と御聖兒の健かなる御生長が祈られます。

▲**ノーベル賞金** 今年もノーベル賞を獲たものが六名あつたことは、時事面に記した通りでありますが、昨年は印度人であるタゴール氏が此の名譽に浴しました。男爵や叙勲を鬼の首でも取つたやうに自分でも思ひ、又人からも思はれるやうな程度に居る日本人が、ノーベル賞金を獲るやうになるのは、果していつの事でせう。日本は其點に於てまだ〳〵小さいといはねばなりません。何もかも統一され易い日本に獨創的な思想家や科學者の出て來ないのは無理でもありません。この三錢均一的な日本人の頭腦を根本的に變ゆる力が欲しいではありませんか。

▲**革命黨勃發** 帝政問題以來不穩の兆候のあつた支那革命黨もつひに勃發しました。まだ物になりさうもありませんが、かういふ運動は今後永く續くとでせう。さりとて袁氏は何故皇帝になりたいのでせう。皇帝になるよりも大總統で終たつ方が其の人物を大にする所以であるとが、どうして解らぬでせう。持つて生れた性格はどうしても超脫が出來ぬものでせうか。

（十二月九日稿）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

皇子御誕生

皇后陛下には去十月廿一日、青山御所内御産殿に籠らせられてより四十三日目なる十二月二日午後七時三十五分を以て皇男子を御分娩相成り御母子共極めて御健全に渡らせられます。此目出度き日、天皇陛下には、青山練兵場に於て大禮觀兵式の盛儀を行はせらるゝに付、國母陛下には殊の外御機嫌麗はしく、即々御下問あり、飛行機の空中分列式を御覽あるべく望遠鏡を御持ち遊され御庭前に降立たせられ給へる程にてありしと傳へられました。而して御陣痛の御催しありてより僅かに卅分餘にして、六千萬同胞の均しく祈念し奉れる御産は最も御安らかに皇男子を御分娩遊されたのでございます。御大典に次ぐに此御慶事を漏れ聞き傳へたる民草の歡喜は殆んど其極點に達したのであります。かくて翌三日には御劒を賜ふの儀を行はせられ、八日畏くも聖上陛下御撰の御名、澄宮崇仁親王殿下と御命名の儀を行はせられました。

大禮觀兵式

曠古の大典を畢らせ給へる今上天皇陛下は十二月二日午前帝國陸軍の精鋭三萬八千九百十五人馬匹約五千砲百九十二門を青山練兵場に閲し給ひ左の勅語を賜はる。

勅語

朕即位ノ大禮ヲ訖リ茲ニ親シク觀兵ノ式ヲ行ヒ帝國陸軍ノ綱紀張リ威容整ヘルヲ視テ深ク之ヲ嘉ミス汝將卒益々奮勵シ以テ報效ヲ期セヨ

大觀兵式後宮城前に集へる約一萬二千の在郷軍人を御親閲遊され優詔を賜はれました。此日、陸軍飛行機十臺は、大なる成功を以て烈風中に空中分列式を擧行したのでございます。

特別觀艦式

大元帥陛下には陸軍の精兵を御親閲遊されてより越えて一日、四日横濱港に於て帝國海軍の艦艇百二十五隻を御親閲遊され、左の勅語を海軍々人に賜はれました。

勅語

朕即位ノ大禮ヲ訖リ茲ニ親シク觀艦ノ式ヲ行ヒ帝國海軍ノ進歩ノ顯著ナルヲ視テ深ク之ヲ嘉ス今ヤ列國海軍ノ趨勢ハ汝等將卒ノ努力ニ俟ツモノ尠カラス汝等益々奮勵セヨ

聖上上野行幸

三百萬市民の待ちに待つた東京市の大典祝賀會は、天日麗かに晴れ渡れる九日、最も盛大に擧行されました。此日畏くも聖上陛下には午前九時宮城御出門、特に市民の天顏を拜するに便せらるゝ御思召を以て無蓋の御馬車を驅らせられて、迂路銀座通りより上野公園なる祝賀會式場へ行幸相成りました。之より先、式場には特に市より招待せる者三千、一般市民約六萬早朝より式場に詰掛けて榮ある此日の盛典に列するの幸を欣びましたが、陛下行幸還幸沿道には市民の奉迎送最も多く、等しく熱誠を以て寶祚無窮聖壽萬歲を祈念いたしました。式は十時十分より始められ陛下には御機嫌いと麗はしく參列の市官民を御親閲遊され、奥田市長の奉讀せる賀表を御嘉納あらせられました。かくて十時五十分上野御發輦宮城へ還御遊されました。尚此日東京市へ金十萬圓、東京府へ金二萬圓御下賜の御沙汰がありました。また至仁至慈にまします陛下には宮城還幸後、日根野、清水谷、石山の三侍從を市內に御派遣あり御道筋に漏れたる市內各區の裝飾光景を視察せしめ、之が御聽取遊されいと御滿足に渡らせられしと傳へられますが、かゝる例は歷代皇帝に類例なき御事であります。

新皇子養育主任

九日、新皇子澄宮崇仁親王殿下御養育主任に閑院宮別當宮中顧問官陸軍少將田內三吉氏が任命されました。

飛行將校の殉職

四日の大觀艦式に空中分列式を行ひたる七臺の海軍飛行機は同日午後三時五十八分イ式十一號（多田大尉操縱青木中尉同乘）を先導として八王子海岸の根據地を出發したるが十一號機は將に離水せんとせる際突風を受け逆浪に襲れて轉覆し海中に沒したれば居合せたる汽艇は直に兩將校を救ひ上げたる處、多田大尉は無事、青木中尉は人事不省に陷り手配に依り一時蘇生したれども、遂に同日午後六時絶命しました。青木中尉は長野縣の人で享年二十六歲。

ノベル賞受賞六名

有名なノベル賞金は今年も左記

六名に與へられたと近着の英紙は報じました。（賞金は一人約八萬圓）

▼物理學

トーマス・エー・エヂソン（米人）

ニコライ・テスラ（在米墺人）

▼文學

ロマン・ローラン（佛國人）

ヘンドリツク・ポントピダントレールスルンド（丁抹人）

フユルネル・フオン・ハイデンスタム

▼化學

テオドール・スウエドベルヒ（瑞典人）

△**米人エヂソン氏** は有名な發明家で電燈、電話、蓄音機、發動機、活動寫眞等無數の大發明を爲した人で今も猶發明に從事してゐます。年六十八。

△**墺人テスラ氏** は二十七歳の時米國に渡り一時エヂソン氏の門下にて研究した事があり、無線電信電話の發達に功顯する所大なる人で、氏が目下研究中なる無線電力輸送の如き大事業が實現したならば世界電氣界の革命を來すものであります。年五十七。

△**佛人ローラン氏** は日本文壇にもよく知れてゐる佛文豪で其著書に「ダントン」「理性の勝利」と云ふ劇「ジヤン、クリストフ」「旅行の終り」等の小說其他があります。

△**スウエドベルヒ氏** は目下學界の大問題となりつゝある新興化學膠狀態化學と云ふ科學の研究に於て最も偉大なる研究を爲したる化學者であります。

東久邇宮妃御慶事

東久邇宮妃聰子内親王殿下には御姙娠七ケ月に渡らせられますが至極御健勝に渡らせられ日々御讀書及び御庭園御散步せらるゝ由に承はります。

米國大統領の結婚期

ガルト夫人との結婚は四日公式を以つて發表せられました通り來る十八日華府なる同夫人邸に於て擧行せらるゝことゝなりました。

人道會の慈善市

東京人道會には、惡風矯正の第一步として牛馬虐待を矯正しんと云ふ目的のもとに來る十一日午前十時より、三越呉服店に於て慈善市を開催し、其の利益を以つて市内の各所に給水所を設置して牛馬の疲勞を慰し。同時に馬子を監視せしむる爲めに數名の人を市内に廻らす費に當つるさうです。後援者たる大山公、鍋島侯、戸田伯、後藤男、三宮男、新渡戸、園田の各夫人は、目下非常なる熱心を以つて、活動して居られるさうです。

英國婦人の日本婦人請宴

神戸在住の英國愛國婦人會員は開戰以來協力して恤兵事業に盡力し來りたるが日本人側の愛國婦人會員並に神戸婦人會員等も非常なる同情を以つてその事業を援助せし爲めその勞に酬んとて去三日午後三時より服部知事夫人以下七十名を元居留地ジムナジユームに請待して盛なる慰勞の宴を催したさうです。

彼の父に此の才嬢

疑獄を生んだ北濱銀行の頭取岩下淸周氏の三女龜代子（二十）嬢は先頃文部省で執行された中等教員檢定試驗に地理音樂英語西洋歷史の四科目を志願し豫備試驗には三科迄及第し終に地理英語の二科目は本試驗にも美事合格した。男子さへ二科目志願する者は少ない中に妙齡の一介孃が此驚くべき好成績を示したので試驗委員も舌を捲いてしまつたと云ふ。彼の親に此の才嬢あるは甚だ面白い對照だとて專ら取沙汰されてゐます。

東京市内諸職人の賃金

大藏省最近の調査に係る東京市内諸賃金日額中均額は左の如し。

醬油造職十九錢六厘△酒造職五十錢△綿打職四十八錢三厘△和服仕立職八十錢二厘△洋服仕立職一圓一錢八厘△下駄職五十七錢七厘△煉瓦積職一圓十錢七厘△大鋸職一圓△大工職一圓十五錢八厘△左官職一圓廿五錢△家根職一圓十錢△瓦葺九十八錢三厘△疊刺職九十五錢八厘△建具職九十三錢三厘△經師職一圓二十二錢△船大工職一圓△諸車製造職八十四錢六厘△塗師職一圓五錢△油絞職卅六錢七厘△活版職七十七錢八厘△平人足六十五錢五厘△鳶人足九十錢五厘△土方人足七十五錢五厘△下男十七錢

女學校だより

▲日本女子大學校●●●●●●● 五日午前九時より文學博士松本亦太郎氏を聘して「御大典に就きて」と云ふ講演會を開きました。

▲女子學院●●●●● 六日午後一時より矢島楫子女史の叙勳祝賀會を催し、「先生の日常品をお求め頂き度し」とて金二百五十圓程をお贈りいたしたさうです。

▲跡見女學校●●●●●● 上級生一同は教職員と共に本月一日伊勢、二日京都を遊覽して去る五日歸校しました。

▲女子商業學校●●●●● 去る六日上級生一同は實地視察の爲め電話交換局及貯金管理局を訪ひました。

▲女子音樂學校●●●●● 來る廿七日より一月七日迄冬期講習會を開催し、唱歌、ピアノ、オルガン、バイオリン、マンドリンの五科目を教授さるゝ由。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

社會風俗改良團を起すの議

薄田斬雲

△社會改良難

政治の改良は至難の事業であるにしても國家の命令に依つて行はるゝ。思ふた通りの効果は舉げ得ると否とは別問題として、兎に角之を促進すべき方法順序丈けは明示されて居る。

然るに社會改良、風俗改良と云ふ事になると．何等之を促進すべき機關がない、唯だ成行きに任する外はない形である。今日社交の形式、禮儀、贈答品、服裝其他日常生活の些事には、何等一定した準據がない。勿論之は法律に依つて決せらるべき問題でない、各個人が進歩した頭腦で、自然な立場から正しく考慮して改良進歩を圖るべき事に屬する。

△團體的勢力

然るに日本人は長い間の封建制度に、其の自然の考察力を萎縮されて居るから、何事も新を追ひ眞を求むる事を罪惡でもあるが如く恐れる。殊に女は世間體を氣にする、隣りの人が行つたら自分も行はうと云ふ。どうでも他を倣ふ事ばかり考へて自ら率先して善いと思ふ事をやつて見る氣がない。

偶ま一人が何か新らしい事を試みると、其の理に當り、將た良好なものであるにも拘らず世人は指して嗤ふ。で、私は考へるに風俗の改良は法律の代りに團體の力を利用する事に依てのみ促進される。

徒歩主義だの茶代廢止主義だのと云ふ事も、主義と云ふ流行語を冠して一ツの風潮らしく吹聽する時、多少の成功を見る、之は團體的の勢力である。併し徒歩主義や茶代廢止は他と區別されにくい。服裝の改良とか、禮儀作法、贈答品などは、一見他と區別され易い。夫れ丈け團體の勢力で之を實行する時其効果は著しい事になる。

△賣婦と職工から

私は婦人週報社が首唱して此の週報を機關とする一ツの風俗改良團を組織せん事を希望する。改良と云ふ事は一ツの試驗であつて、費用も要る、又其の運動を起すべき主唱者には、社會的の地位と名望とが必要である。日本の流行は無智にして無恥なる賣婦と、工場の職工が原動力である。之れではどうでも賣らんが爲めの流行であつて、改良進歩の流行とはならない。日本は贅澤する程金持の國ではないのに、日本人の服裝は、襦袢から縮緬を着る、晴れの上衣を何枚も重ねて着て居る樣なものだ。之は、日本人が、裸體的服裝を粋なりとする、賣女や、俳優藝人などを流行の魁として、之に倣ふから起つた事である。襟、袖口裾などに下着を盡く見せやうとする。德川末葉の武陵桃源生活には之れでもよかつたらうが、今日切辛い世の中で、こんな事は無理だら馬の糞を掃く裾に絹物を用ゐるから、二三度外出すると裾から綿が出る。こんな馬鹿々々しい服裝は止してもらひたい。

△眞實の贈答品

又義理一遍の贈答品として、貰つた物の値踏みをして同額の菓子箱を最寄りの店から買つて贈る。差引き勘定なし。私が嘗て九十九里の海岸に一年余り住んだ時、家主の翁が、頗る開明な人で盆、正月など云ふ時には、扇子一本なり手拭一筋なり、半紙三帖なりの伺ひにする。其代り双方珍らしい物が手に入つた時は、互に分贈する之が理想的贈答法であつた。私は都會生活に於ても之を實行したい盆正月などには、各自國產を取寄せて、お國自慢の交換でもしたなら面白からう。

△改良の捷徑

だがこんな改良は婦人の範圍に屬する點が多い。名と地位と金とある婦人が先鋒になつて、或る一ツの改良樣式を試驗的に實行し、其結果良好と見たら團體の勢力で之を世間一般に流行させる樣にする。之が風俗改良の捷徑である。貧乏者がやると世間では吝だと笑つて顧みないが、金持がやると、なる程之は好い事だと賛成する。又試驗的にやる事は、金がかゝる。之れも金持でなくては出來ない。智識あり地位ある婦人の發案は易く世人に是認される。で、私の改良團組織案は、智識と名望と地位と金とある憂國の婦人を出來る丈け多く網羅して、之れに新智識を受けた若い婦人が加盟する。そてし

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

其姓名を誌上に列記し其の實行すべき方案を誌上に公開するのだ。政治運動よりも、斯種の風俗改良運動が婦人に取つて當面の必須運動と思はれる。尚ほ、私は次號より改良に關する諸種の案を具體的に説明して見やうと思ふ。

棄てられたアイヌ

○十二月五日の午前七時、京都から送られたアイヌ三十人を、私は二三の矯風會、廓清會の役員方と共に、東京驛に出迎へました。生憎北風の冷い日で、薄い着物に木の皮で織つた上着をつけ、土氣色をして震えて居る姿を見た時は何より先きに暖かい朝飯を遣りたいと思ひました。廓清會の好意で一行は神田美土代町の青年會館に落付かせることになりました。

○聞けば彼れ等は、御大典を利用して一と儲けしやうとした無謀な興行師に北海道の山奥から遙々誘き出され、四十日間京都のアイヌ館で熊踊りをしたが、非常な失敗に終つたので、興行主は狐、熊の皮など彼れ等の目星しい物は皆引浚つて行衛を晦まして終ひました。置き去られた彼れ等は貴はアイヌ細工の箸や柄杓を賣り歩き、僅かに燒芋を買つて餓えを凌ぎ、夜は眞暗な疊も無い冷たい床の上に心細い一夜を過し、どうして歸國したものかと、涙と共に不安な日々を送つて居りましたのを、折柄出張中の矯風會の役員、及びその地の牧師方に助けられて、やう〳〵歸國する事が出來るやうになつたのだと申します。

○ストーブで暖められた青年會館の廣間に、樂に腰掛けて、暖かい辨當を手にした時は、一行の酋長がアイヌ語ながら、心から感謝の祈りを捧げ、アーメンと三十の口から高らかな聲が擧げられました。彼れ等の間には早く西洋人が傳道して、この中の多數は信徒であり、子供達ちは日本語で讃美歌が歌へると申します。内地人はこの無智な頼り無い者等を見ても只單に利用して金儲けをしやうとする斗りで、彼れ等の間に身を投じて教導しやうとする者の、未だ嘗て無い事は、誠に恥しい事です。

上野や淺草を見て、彼れ等は子供のやうに喜びました。殊に淺草の仲店で、赤い簪や、フランネルの帽子や肌着を見て、土産に買つてやりたいとて、乏しい財布を絞つて、買ひ始めました。荒廢したアイヌ村に歸つて、大方の生涯を雪の中に暮す彼れ等の仲間に今買ふ赤や桃色の晴れやかな色が、どんなにこの後の幾年かを賑はす事であらうと思へば、金を山に積んで自由に買はして遣りたいが、それもならず、僅かに五十錢宛を與へて土産の料に當てました。

○一行は一夜を鐵道青年會の暖かい布團の上に過し、翌朝の九時、嬉々として上野を出發しました。汽車が動き初めても、なほ堅く手を握つて「アイヌ村に來て下さい」と、別れを惜しみました。（三四子）

一人一評

幸田延子

▲幸田延子さんが女官達と一緒に叙勲されたといふ事が新聞に出てゐた。幸田さんの名が世上に傳へられざること久し。なんだか其の名を新聞で見るのが珍らしい氣がした。一時は音樂學校の幸田さんか、幸田さんの音樂學校かといふやうな勢力があつたのに、同校隱退後は全く世間から忘れられた觀があつた。

▲世間から忘れられても、音樂界における幸田さんの潜勢力は牢として拔くべからざるものがある。和聲學の如き今でも日本唯一の權威を以て許されてゐる。音樂學校の出身者で直接幸田さんから教つたといへば、自らそれを光榮と感じ又人から羨まれる程である。實際幸田さんは内親王殿下方の御相手だけに留めておくことは惜しいものである。

▲幸田さんは音樂上の天才である。倭小な日本人に西洋樂が出來るだらうかと疑つた西洋人も、幸田さんの理解と技術には舌を捲いたといふ。其の頭腦は頗る明晰で、獨逸語が極めて得意なばかりか、碌に學びもしない英語まで流暢に語られる。

▲嘗て幸田さんは斯う述懷された。「私に美貌を與へたならば、全世界に名を轟かして見せる」と。これは確に事實であらう。けれども幸田さんに此の一事を缺いた事は、決して天の惡意ではあるまい。眞の藝術よりも美貌に憧れるやうな輕薄無知な世人に、其の名を歌はれた所で、唯一時的の事で、あまり永久的な價値が存するわけではない。寧ろ澁い藝術に依つて、少數の識者に尊敬されてゐる方が却つて幸田さんの大をなす所以であらう。幸田さんをして三浦環たらしむる必要は些しもない。

（くも）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女湯改良論(承前)

當局並に各家の意見

婦人自らの解決を待つ

警視廳保安課長 石井光次郎

△精神は贊成

貴誌が女湯改良を主張される精神は、私も甚だ贊成である。若し女湯に男の三助を用ひず、女を用ゆる事が、實際行はるゝならば甚だ結構な事である。然し警察行政上から見る時と、道德上から見る時と、自ら其標準が違ふ。即ち、精神的、道德的に見る時は、男の三助が婦人の身體を洗ふ事は、甚だ風俗上良からぬ事と見えるが、警察の立場から見れば、直接風俗を亂すものとは見ぬのである。

△取締る範圍

勿論、女が一人這入つてゐる湯に於て三助が猥らな事でもすると云ふ樣な直接風俗壞亂と見られる事は、警察の取締るべきものであり、現に取締りつゝあるのであるが、習慣上殆んど木石に對する樣な痲痺した感じで婦人に對する三助が、女湯に出入してゐるのを、風俗上害ありとして、規則を設けて禁止させる事は、警察の爲し得ぬ所である。

即ち警察の目的は、出來るだけ自由にして置いて、愈々放任しては、直接風俗上有害なりと認める時に於て、斷乎として取締るにあるのだから、今、公開的にされてゐる浴場の、具體的でない風俗上の事を、取締るは警察の直接の目的でない。例へば此頃雇人口入所内に於て、怪しき男を置き、職を求めて來る女を誘惑してから、賣飛ばすなど云ふ事が盛んに行はれてゐるので、之等は警察に於て嚴重に取締つてゐるのである。

△芝の實例

又、過日、芝の某、浴場の隣家の素人下宿の二階から、女の裸體が見え、風俗上怪しからぬとて訴へて來たものがあるので、早速調べた上浴場の方に圍をさせた樣な次第で、かゝる事は發見次第、注意のあり次第に取締りを實行してゐるのである。通行人が浴場の洗場を見通す樣な事は規則上出來ないのであるが、之れ等は浴場の方で十分規則を守つて貰はねばならぬ事である。

△强制は出來ぬ

尚、三助を女にすると云ふに就ては、浴場の經濟上非常な打擊がありはしまいかと思はれる。三助は只入浴者の身體を洗ふばかりが彼等の仕事ではなく、釜の方の仕事もあり、洗場の掃除等もあつて可成りの腕力を要するものであるから、女湯の入浴者の肩を流す爲めばかりに特別な女の三助を雇入れるのは甚だ不經濟であらうと思ふ。且、女では一日二三十人の身體を洗ふ勞力に堪へ得るかも疑問である。されば斯る經濟の損失をも犧牲にしてまで、女の三助を用ひさせる事は、警察としては强制する事が出來ないのである。

△婦人の道德心

而し乍ら、貴誌の主張する所は甚だ結構なのであるから、或は市内山手邊の上品な浴場に於て、女湯に女の三助を採用したならば却つて繁昌するかも知れないと思ふ。私は此問題は寧ろ浴場に赴く婦人自身が、成可く三助に洗はせぬ樣な風になる事によつて、實際上改良されて行く事を望むのである。即ち貴誌の如き新聞雜誌に依つて主張され、世人の道德心に訴へて、漸次改良されて行かれん事を望まれるのである。

至極贊成なり

山室軍平

△反對の實驗から

眞に良い所に氣付かれたと、私も至極贊成であります。私共が地方へ旅行いたし、宿屋の湯に入ると、女中が來て背中を流してくれる、幾ら拒絶つても洗つてゆく、其時の心持の惡い事はありません。男子でさへ女中に洗つてもらう事が氣持が惡いのだから、婦人が男の三助に身體を洗はれる事は尚更堪へられない事でありませう

△裸體婦人の研究所

此頃芝の或る人から手紙で愬云

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ふ事を訴へて來ました。其人の下宿屋の二階から、良く見える所に錢湯があり、婦人が着物を着たり脱いだりする所が丸見えなので、其下宿屋の二階は恰も裸體婦人の研究所のやうになつてゐる、警察は之を知つてゐるかどうかと云ふのでありました。私は其手紙を封じて芝警察に送つて置きましたが之れなども改良されなければならぬ實例であると思ひます。

△もう一つの實例

も一つ差當り氣付いた實例を申しますと、京橋木挽町の厚生館の前に一の湯屋がありますが、此處の前を通ると、客の出入する度に戶が開かれ中に衝立の如きものが無いので奧の方に婦人の裸體姿が見える。之れは別に注意して見るのではないけれど、見るともなく見られれのですが、誠に目苦しい事であります。殊に彼邊は築地あたりに住む外國人の往來頻繁ですから、彼等が見たら尙更見苦しい事でありませう。あれ等は是非とも、戶を二重にして、而かも開け方をいゝいゝ、たがひちがひにして、兩方一度に開けられる塲合でも、通行人に中が見えぬ樣に改良して貰ひたいと思ひます。私は如上の實例から女湯改良の主張に、甚だ贊成いたすものであります。

驚くべき奇習

小崎千代子

△關西婦人の驚き

先年私の友人が關西から上京して、錢湯に行き、女湯に眞裸の三助の立つて居るのを見て、大變に驚き、「何んと云ふ奇習だらう、關西には決してこんな異樣な風は無い」と云つて、女湯改良を思ひ立ち、或る年の矯風會の大會に提議したことがありましたが、その儘立消えになつて終ひました。

△東京婦人の痲痺

御誌が此處に着眼して、その改良を思ひ立たれた事は、誠に結構な事で、東京人は一般にこの奇習に痲痺して、何とも思はなくなつて居るのです。よく〳〵考へて見れば、これ程見つともない、危險なことはなからうと思はれます。先づその事が解るやうにするには、新聞雜誌で盛んに注意して貰ふより外にありません。

△不自由ではない

女自身が氣付いて、湯屋に制裁を與へられるやうになる事は一番望ましいことですが、警視廳邊りでも同時に取締つて頂いたら、改良が早く行はれやうと思ひます。三助が無くては不自由だらうと申すかも知れませんが、關西のやうに無くて濟んで居る處もあります。また女にちやんと仕度をさせて、流すやうにしてもよいではありませんか。とにかく國家の體面上、一日も早く改められんことを望んで止みませぬ。

讀者の聲

痛快の至りです

▲女湯改良は實に會心の記事です。殊に男子として女の垢をこすつて其を職業にするなどは常に侮蔑する婦人の垢を落すを生業とする譯で、幾ら三助如き者でも男子じやありませんか。あゝ云つた樣な實際に改良すべき問題をどし〳〵掲載して下さい、實に痛快です。私は現今の所謂紳士なる者に對してどし〳〵痛棒を加へてやり度くて仕方がありません。虛榮心は決して女ばかりぢやなく、男も隨分持つて猛烈に發揮して居ます。殊に品行の點に至つては長き風習の惰勢か知らぬけれども、全く以て犬猫にも劣ります。それで今日の法律上男子云々なんて權利を主張するのを見ると腹が立つよりも猿が冠を着て人間氣取りをして居る樣で冷笑を禁じ得ない塲合が多いのです。お望みとあらば活事實を何程でも提供いたします。(里子)

矯風會の事業として

▲女湯改良の記事、誠に面白く存候、是は御說の如く只新紙と文章として興味を持つに止らず、眞の社會改良の一端を實行致し候迄に其筋に運動を矯風會の事業の一つとして之を爲す事に致し相應じて週報は其目的の道筋を示したらば最も有益なる社會改良の運動と相成るべくと存じ候。(大阪一讀者)

女の良心覺醒

▲女湯改良を叫んで下さつたのは近來の快事だと思ひます。而かも極めて實行し易い事ですから、少し當局者にわかる人が居れば、直ぐ實行されるだらうと思ひます。假令今直ぐ改良されずとも、此點に痲痺してゐる婦人の良心を覺醒させ、三助を遠ざける樣な氣分に導く……そうした精神上の革命から延いては實際上男の三助を女湯から驅逐するに到る樣なことになれば決して〳〵無意味ではないと思はれます。(麻布、女教師)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭に於ける森村翁

△亡夫人の誕生日に授爵

今度新らたに男爵を授けられた森村市左衛門翁は、今年七十七歳で、芝高輪の邸に、令息の家族と廊下傳ひに別居して居られます。富貴に居て貧賤を忘れず、常に翁の片腕となつて助けられた菊子夫人は、四年前に亡くなられました。丁度十一月卅日の夜、翁は床に就く間も無く呼鈴を鳴らして女中をよび、「明日は亡くなつた奥樣の誕生日故、赤の御飯を炊いてくれ」と頼まれました。やがて十二月一日の朝、祝ひの膳に向はれると間も無く、宮內省からの電話で召され、取急ぎ出頭されると、授爵の有難き御沙汰を賜はつたのださうです。翁は歸來只管沈默して居られるのみださうですが、圖らずも亡き夫人の誕生日に、この光榮を仰ぐに至つたのは、偶然の事ではないと、家人は申して居られます。

△女中に謝罪る

翁の玄關に立つ者の感ずる事は女中達ちの心から謙遜な親切な取次振りです。女中達ちは何れも「旦那樣の爲めなら、どんなに働らいても足りない」と申して居るさうですが、翁は常に女中達に向つて、「お前達ちは立派に働らいて、その報酬を受けて居るのだから、自分で下女だなど、卑下してはならない。働らきに上下の別はないから、充分自重して、立派な人間にならなければならない」と申されるさうです。寛仁な翁も時に少し荒々しい言葉を女中に向つて申される事がありますが、その時は程經て非常に後悔して「惡かつた、許してくれ」と謝罪られるので、女中達ちは涙を流して有難がるさうです。

△謙遜なその日常

夕食後女中達は若い者の事とて、茶の間に集まつて、笑つたり、騒いだりする事がありますが、翁は用足しに餘儀なく其の部屋の前を通られる事があつても、決して茶の間の方に目を注がず、一直線に往還されるさうです。若い者の折角の興味を殺ぐのを恐れてとの事です。門前に建てられた南高輪小學校に敎鞭を執つて居る某女史は、古くから其の邸內に居られますが、毎朝「行つて參ります」と御挨拶に行くと、お部屋の低い椅子に坐つて新聞を讀まれて居る翁は、飛び降りて疊に手のつかん計りに低い挨拶をせられるので、餘り痛み入る事故、御挨拶に行くのを止めやうかとも思ふ位だとの事です。然し元氣の籠つた聲で「行つていらつしやい」と云はれる翁の言葉を聞かないと、何となくその日は元氣が出ないやうに覺えるので、やはり毎日行くことにして居られるさうです。

△わが身には嚴格

人には寛大な翁も、身を持するには、この上なく嚴格で、朝起きるや否や荒繩で全身を摩擦することは有名です。食卓は米飯は決して用ひず、麺麭の數片をとられるさうですが、副食物などを餘されると何時も「この次に食べるから、取つて置けよ」と云はれるさうです。衣服は一圓二三十錢の木綿物で、常に前掛けを着けて居られ、外出の折はその上に袴を穿かれます。靴下なども、綴つて綴つて、もう綴れなくなる迄は、決して捨てさせなさらないさうです。こういふ風ですから家には一室も無駄の部屋を作らず、用材も皆瑕だらけの古いもの計りです。

△翁の訓戒

令嗣夫人は井上子爵の令孃ですが、翁の家風に似つかはしい極めて平民的の方です。翁に仕へて眞の親のやうに何事も打ち明けられると、翁も何んでも相談されるさうです。また翁は時々家族の者を集めて、無一物から起つた昔話りをされては、「女はさうでもないが、男は金が出來ると馬鹿になるから、餘程謹み勵まなければならない」と、令孫達ちを戒められるさうです。

小兒の死亡（二）

内閣統計官　二階堂保則

▼都會と鄕村

日本に於ては因襲的に母乳授與の良習慣がある、其にも拘らず前申す如く、生產千人に付乳兒の死亡が百十人から百六十一人に增

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

したのであります。之は果して如何なる原因に依るのであるか。其原因を探つて之が防止に努めると は社會問題として重要であると同時に人の母たる女子の忘れてならぬ所であります。然し乍ら是等の事は直接に其原因を探ぐる事は仲々六ケ敷い、寧ろ之を間接に社會事實から探ぐることは眞相を得易いのであります。先第一に都會と郡村との間に如何なる差があるかを見出しませう。之を歐洲、殊に獨逸に就て見ますると其聯邦の主國であるプロイセンなどでは都會の方が郡村よりも乳兒死亡率が高い。然るに同じ獨逸聯邦でもバイエルンでは寧ろ郡村の方に乳兒死亡率が高いのであります。文化の進んだ都會に於て乳兒死亡率の高いと云ふ事實は、都會生活は田舍生活よりも困難であつて、種々の方面から害因が逼迫して來る、其影響が愛兒の上にも及ぼして來るので、又都會は郡村よりも生兒が多いことも其原因と爲ると思はれます。然るにバイエルン邊りの如く都會の方が郡村より善い狀態にあると云ふのは、無論都會生活は不良であるに相違ないが、プロイセンほどに都會が發達して居らない、それ丈害因の逼迫が少なくて、而して乳兒保護等の機關が備はつて居るからと思はれます。

▼公生兒と私生兒

顧つて日本は如何と見ますれば一般に都會の乳兒死亡率が多いのです。明治三十九年から四十三年に至る五年平均率を見ると其公生兒の事實は左の如くであります。

(都市及び郡村別)	(生産千人に付乳兒死亡數)
東京市大阪市合計	一八三人三六
東京大阪を除いた人口十萬以上の都市合計	一七三人九四
人口五萬以上十萬迄の都市合計	一七四人五八
人口五萬以下郡村まで合計	一六八人八二

と云ふので郡村は一番少なく大都市になる程多くなつてゐます。然るに之を私生兒の方に見ると、少しく趣が變つてゐます。

東京大阪合計	二六〇人二二
十萬以上の都市合計	二一一人七六
五萬以上十萬の都市合計	二四〇人一〇
五萬以下の地	二五八人四八

即ち東京大阪が一番率が高いが、郡村に於て殆んど其と等しい率を見てゐます。而して中程度の都會が低い、何故に斯様に奇なる現象があるか、之は都會には内縁の夫妻が多い爲めであると思はれます内縁の夫妻の子は法律上私生兒ではあるが、公生兒と何の異なることなく暖かき家庭に於て育てられる、それ故に中都會の私生兒は割合に死亡數が少いのであります。然るに郡村に至ると内縁の夫婦は都會の如く多くない、それ故に其私生兒は眞の私生兒であるので、公生兒と同じ様な暖かき家庭に育てられる者でない、それだけ郡村の私生兒乳兒死亡が多いのであります。かく暖き家庭に育つか否かが小兒死亡に大いなる關係を有つてゐる事を注意せねばなりません。

▲家庭を遠かる母

以上の如き事實より、日本人の生活が漸々困難になりつゝあると云ふことを考られますが、文化の程度が進んで來ると所謂社會組織の大變更が行はれる、それに隨つて、女子が家内にのみ引込んでゐることが出來なくて、家事を餘所に社會の人として世の表面に立つことが多くなります。別言すれば女子の有業者が多くなり、女子も人として職業を持つて世に立つものが多くなつて來るのです。郡村に於ては女が直接農事に從ひ、土木に携り、工場に勞働する、それ故に新潟縣佐渡郡の調査に依て見ても有業者の比例が男に近いほどであるのです。都會に於ては工場等に働く者もありますが、概して有業者は少い、併しそれは本業者として少いので、副業者として所謂内職を爲す者は日一日毎に多くなる、例へば今盛んに行はれる麻繼の如き材料たるマニラヘムプを輸入して其を加工して麻眞田と爲して輸出する其差額が即ち婦女の内職的勞働の働きでありますが、明瞭には知れませんが推算すると、明治四十五年大正元年には此働きの價が約四百萬圓あつたのが、大正三年には約七百萬圓に上つて居るのを見ても知れることゝ思ひます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

寄生論（三）

（シュライネルから）

雲舟生

男女の勞働問題

男子の勞働問題と女子の勞働問題は全く同一であつて、男子のこれを解決すれば女子のも自から解決出來るやうに考へる識者も尠くない。併しこれは甚だしい謬見で、男子の勞働問題が明日滿足な解決が出來たとしても、女子の勞働問題にはあまり影響がない。影響があるとすれば、それは惡い影響である。男が充分なる勞働をなして豐かになればなる程、自ら誘惑を感じ、又自分に關係ある女子を墮落させ、また寄生せしむるからである。

この二つの問題が同一でないことは、職業を持つ男子が矢張女子が職業を持たんとするに屢々反對するのでも解る。啻に知識的社會的方面の職業に反對するのみならず、昔しから女の仕事であつた織物や手工をも女にやらせたがらない。然らば男子の勞働問題の盛んなる所に、何故女子の勞働問題が起るかといふに、それは其の社會の狀態の然らしむる所で、いはゞ二つの流は一つの泉が起つて、相並行して走り、一は滿足に其の行路を見出して海に注ぎ、他の一つは砂の中か、沼の中に其の流が沒してしまうやうなものである。

この二つの相似たる運動の動因は甚だ異なつてゐる。男子の勞働運動は生活上の壓迫に堪へられぬ貧窮の勞働者の間から發してゐる。然るに女子の勞働問題は專ら富有にして修養ある階級から發してゐる。即ち女子は生活上の壓迫はなくとも、無職業のために衰弱し、寄生生活のために墮落せんことを怖たがためである。今日の女子勞働問題は畢竟するに、無氣力と墮落から女子を救はんとするにある。男子のは初めから物質的だが、女子のは其の起源からして、精神的な要素が含まれてゐる。

止む能はざる要求

斯る運動は或る學派の斷片的論理から生じたのではない。純粹に知識的な抽象な教理から其活力を獲て來たのではない。もつと廣い社會の物質的精神的狀態から生じたのである。人生の要求から生じたのである。或る個人は之れを指導することは出來るが、これを發生させる事は出來ない。或る個人の專斷から起る社會運動は其の人と共に起るが、又其の人と共に消えてしまふ。アレキサンダーは希臘と亞細亞を統一せんとした。ナポレオンは歐洲列國を統一せんとした。其の盛んなる時は、欲する所ノ事が出來さうに見えるが、其の生涯の努力は其の人の去ると共に頽れてしまふ。子供の手で集めた海岸の砂山のやうなものである。併しわが婦人運動は人生の根底から發生した要求である。歐洲の歷史に波瀾を捲起した宗教上知識上の運動に似てゐる。マルチン・ルーテルの語を借りていへば「他にどうしやうもない」要求から發生じた運動である。女子の活動を增大し、其の修養を廣くし、其の寄生を拒否せんとする確實不屈の運動である此の運動が小兒が胎内で發生し、生長するやうに、徐々に、又確實に、社會に其の形を成してゆくのである。

新らしい女と古い女

斯る婦人運動をなす者を世間では「新らしい女」といふ。所が實際は新らしくなくつて、古い古い女なのである。即ち今日この運動をなす者は新奇な事を發明したのではなく、二十世紀も前に、チュートンの女が歐洲の森の中でやつてゐたことを再現しやうとするのである。決して買はれも又決して賣られもしない女の血は我等の裡に生きて動くのである。結婚の理想は男も女も義務と勞働に於て平等たらんとするのである。我等は男子と對等に人生のあらゆる戰をなさんとするのである。我等は決して新しくない。二千年前に復古して、男女對等の社會を再現して、女の持てる血を充分に活用せんとするのである。（終）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

笛

人村鴨巣

一　百年ばかり前に、亞米利加のボストンにベンヂャミン・フランクリンといふ小さな男の兒がありました。七歳の時に、お母さんがこの兒に四五錢のお錢をやりました。

男の兒は其の光つた銅貨を眺めて、「お母さん、これは何んにするの」と問ねました。

生れて初めてお錢を持つたので男の兒は何にも知らぬのでした。

「何にか買ひたければ、それで買へます」とお母さんが言ひました。

「さうしたら、お母さんはもつとくれますか」と男の兒が問ねました。

お母さんは頭を振つて、「いえ、ベンヂャミンや。もう上げられません。だから無駄に使はぬやうに大切になさい」

男の兒は街へ驅けてゆきました。銅貨が嚢中でちやらん〳〵音がするので、いかにも金持らしく想ひました。

ボストンは今は大きな都ですが其の頃は小さな町で、店屋も澤山にありませんでした。

ベンヂャミンは街へかけ出したが、さて何にを買はうかと迷ひました。飴を買はうかしら。玩具を買はうかしら。

ベンヂャミンが獨息子でもあつたら、もつと何にか買物が違つたでせう。でも、この兒には兄さん姉さんが十四人もあつて、其の上妹が二人もあるのでした。

こんなに澤山な家族で、お父さんが貧乏と來てゐるから、この兒が今迄玩具を持つたことがないのも無理はありません。

今ベンヂャミンは街を行くと、大きな子供が笛を吹きながら來ました。

「笛が欲しいな」とベンヂャミンは言ひました。

大きな子供はベンヂャミンを見て、また笛を吹きました。なんといふ善い音だらう。

「玆にお錢がある」とベンヂャミンは言ひながら、お錢を其の大きな子供に見せて、「これをあげるから、その笛を下さい」

「それをみんなか」

「あゝ、皆んな」

「よし、賣つてやらう」と其の子供はベンヂャミンに笛をやつて、お錢を受取りました。

小さなベンヂャミンはまだ七歳なので、大喜びでした。笛を吹きながら、早速家へ驅けて歸りました。

「こら、お母さん、笛を買ひました」

「幾らで買つたの」

「お母さんから貰つたお錢皆んなで買ひました」

「まあ、ベンヂャミンや」

一人の兄さんが笛を見せろと言ひました。

「やあ、やあ、高い笛だな。これは一錢もしやしない」

「お前が持つてゐたお錢で、こんな笛なら、五つ六つ買へたのに」とお母さんが言ひかした。

ベンヂャミンはとんだ事をしたと思つて、もう笛など欲しくなくなりました。其の笛を床に投げ出して、泣き出しました。

「泣きなさるな」とお母さんは柔しく、「お前はまだ小さい子供なのだからね、大きくなれば物がよく解つて來ます。お前が今日學んだ敎訓は笛を高く買つてはいけないといふことですね」

ベンヂャミン・フランクリンはお爺さんになつても、其の日の敎訓を忘れませんでした。ベンヂャミンは成人くなると次第に偉い人になつて、ワシントンを助けて亞米利加を獨立國に致しました。

子供の智慧

袴はいて

文惠ちやんは滿二つの女の兒ですが、「袴はいて、學校へ行くの」と毎日言つてゐます。「學校へ行つて何にを敎はるの」と聽くと、「龜よつて」と答へます。（巢）

學校の眼鏡

惡戲の太郎さん、今年八つですが、學校へ行くのが嫌いで困ります。或る日外から歸つて來て、「お母さん、眼鏡を買つてくれ」と言ひますので、お母さんは、「眼鏡をどうするの」と聽きますと、「だつて、今隣の叔父さんが、眼鏡は有難いものだ。今まで眼がかすんで讀めなかつた字まで讀めて來たといつてゐたもの。僕も眼鏡があれば、學校へ行かなくつても、字が讀めてくるだらう」（たき子）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説 **奴隷**（其六）

松本雲舟

十

「でも、私」と敏子は殘り惜しさうに、「あなたとお別れしたくありません。いつまでもあなたと御交際したい」と政雄を秋波に見やつた。

「そんな事が出來ますものですか」と政雄は斷乎と、「あなたの結婚と同時に、私共の交際は止めねばなりません。いや、今日限り止めねばなりません。」

「まあ」と敏子は事の意外に驚いたやうに、「そんな事をしないでも、どうぞいつまでも私の兄さんでゐてちやうだい。でなけれは、私、安心して先方へ嫁くことが出來ませんから」

「敏子さん」と政雄は居ずまひを直した。「あなたの考はあまり不眞面目ですぞ。人は二人の主に仕ふる事能はずといふ事が解りませんか。私に對して眞實戀々の情があるなら、何故先方へ嫁かうと決心したのですか」。

「だつて……」と敏子は言ひ淀んで、下を打向ひた。

「先方の人があなたのさういふ心の狀態を知つたら、どんなに腹を立てるでせう、何故潔く私に叛かないのです。私は今まで及ずながらあなたに盡して來ましたけれど、あなたからそんな眞心の籠らない友情を獲やうとは思ひません。私は二心は大嫌ひです」

「ではもう、御交際は出來ないのですか」と敏子はまたもや顏を曇らせた。

「出來るも、出來ないも無いぢやありませんか」と政雄は勃として「あなたの心柄ではないですか」

「でも、私、悲しい」と敏子の眼には、淚の玉が浮んで、頰に流れるのを拭うともしなかつた。

「兎に角、あなたは幸福です」と政雄は冷かに、「十年間も望んだものを獲なすつたのですから。なにを泣くのですか。

「あなたはあんまり殘酷よ」と敏子はわつと泣き臥した。

政雄も頭がふら〳〵して來て、敏子に背を向けて、机の上にある洋書を眺めたが、そこに何にが書いてあるのか解らなかつた。

かくて幾分間を過ぎた。政雄は漸く落着くことが出來たので、向き直つて泣き臥せる敏子の背を眺めた。其の背は感情の波動に高くなつたり低くなつたりした。

「敏子さん、もう泣きなさるな。私はあなたの幸福を祈りますから」と柔しく言つた。

「私は全たく犧牲です」と敏子は淚にぬれた顏をあげて、「少しも嫁きたくはないのだけれど」

政雄は敏子の感情の矛盾を想ふて、一種の悲哀を感せざるを得なかつた。

「あなたが犧牲といふのは」と政雄は敏子の心を解剖してやるやうに、「多分初戀に對して感する犧牲でせう」

「えい、さうです」と敏子はわが意を得たやうに、「初戀の犧牲です。私はどうしても嫁かねばならぬでせうか」

「今更そんな事を言つたつて仕方がない」と政雄は唇を嚙んで、「それはあなた自身のほか決すること

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が出來ぬ問題です」

「あゝ、あゝ」と敏子は嘆息をついて、頭を斜めに沈み込んだ。

「もう、止めなさい」と政雄は面倒になつて「さう考へ込まずに、斷行なさい。私は何んとも思はぬから」

敏子は默つてゐる。

「全體いつ結婚するのです」と政雄が言つた。

「まだ解りません」と敏子は微かに答へた。

「先方の人は何にをしてゐるのです」

「商賣です」と敏子はおとなしく、「高等商業を卒業して」

「それは結構です」と政雄は落着いて「私のやうに筆一本で喰つてゆかうとする者よりも、どんなに善いか知れません」

「だつて、私、結婚の費用も持たないんですもの」と敏子は其のたよりなさを嘆つた。

「先方でどうかしさうなものですね」と政雄は敏子の境遇に同情した。

「先方にそんな親切があるものですか」と敏子は素氣なく言つた。

政雄はこの少女の前途の暗澹たるを氣の毒に想つて、涙を浮べた。

二人は暫らく沈默したが、政雄はやがて重氣な口を開いた。

「でも、それがあなたの行くべき路なら、仕方がない。勇んでお進みなさい」

敏子は怨めしげに政雄を見あげた。

慰安錄

精神上生活上種々御煩悶のある方は何卒御投稿下さい、御力添へになりたいと存じます。

先妻の養女の嫁入口

私は數年前後妻に行つた者ですが、家には先妻の養女になつて居る年頃の娘が居ります。養女と申すもの、實は夫の妾に生ました子であるとの事で、彼方、此方から御世話して下さる方があつて、九分迄纏りかけた縁談は、いつもこの爲めに破れて終ひます。夫はそんな事は棚に上げ「良縁の無いのは、御前の躾けが惡いからだ」と頻りに私を責めます。私は男にいくら腕があつても、複雜な家庭生活にはこりごりして居りますから、娘は家の格などはずつと下つても、また男に腕は無くとも、酒も煙草も飲まない堅人に遣りたいと思ひますが如何でせう。（くに子）

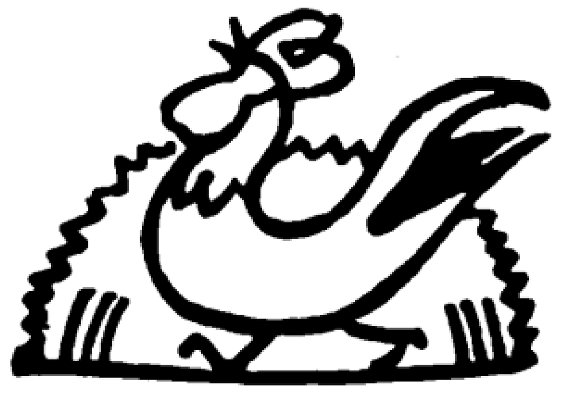
▲男といふ者はよくさういふ事を言ひたがるものですから、氣に懸けぬが宜しうございます。あなたの娘を堅い人にやらうと御考へなさるのは結構だと思ひます。いくら腕があつても人間が不德では仕方がありません。腕や地位名譽に憧れて不德な男に嫁して泣いてゐる婦人が數知れぬほどありませう。併し唯さういふ嫁入口を選ぶばかりでなく、其の娘をよく教訓して、世の榮華を慕はぬやうにさせることも、大切でせう。其の娘が父の罪の影響を脱し、宗教的に安心することが出來るやうにならんことを望みます。あなた自身も此複雜な家庭に嫁した事を嘆くばかりでなく、あなたがさういふ地位におかれた使命を想ふて、其處に大なる意味を見出しなさるやうにしたいものです。（記者）

失職せる父

私は某校に在學中ですが、此程父失職のため、生活上の問題生じ、殘念ながら退學して糊口のために戰はねばならぬと思ひますが、折角の宿望を頓座するのも口惜しく、何とかして兩親の生活の途を開きたいと思つてゐます。御紙に婦人自活の道として裁縫事業の有利な事が記してありましたが、母を當地に呼び寄せ、父にも書記か筆耕の如き職を求めて、自活の料と致させたいと思ひますが如何なものでせう。（結生）

▲一月が二月遊ぶだけの餘裕があるなら、御兩親を東京へ呼び寄せなさるも宜しいでせうが、非常な困難を覺悟せねばなりません。裁縫も年を老つて居られては裁縫學校出身者のやうなわけには行きますまい。田舍の方が生活が樂な點もあるから、愼重に考へてからの事になさいまし、お父上の仕事は書記のやうな口があれば兎に角、筆耕などでは到底生活してゆけるものではありません。（記者）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



生きた鶏卵と死んだ鶏卵（下）

（胃腸病者としての余が養生法承前）

九十九里片貝　松濤園主の鶏卵談

△上等卵と下等卵　私が本郷の有名な菓子屋の職人に自園産の上等卵を提供してカステイラを焼いて貰ひましたら「斯う云ふ好い玉子だと仕事も楽で、出來も好い」と申しました。

それは單に此の人ばかりではなく、板垣伯夫人の主宰する東京割烹講習會の指原乙子女史の如き、諸學校でも一度御使ひになると注文が引續き絶えません、これは普通の支那玉子を不知不識使つて居た方々が内地卵の而かも上等物を御使用になつて、料理用として極めて割ゆき、徳用であると云ふことを御承知なさるからだと思ひます。これは私の實驗ですが、六個の自園産の玉子と、同じく六個の支那玉子とで、別々にカステイラを焼いて見ましたら、自園の方遙かにフクラミも好く、出來榮えも美事でした。勿論此の塲合玉子の大さは兩方共同様なのです。尚カステイラばかりでなく、玉子焼を焼きましても、上海卵と地玉の上等品とでは、焼く時に腰の強さが違ひますし、食べて舌觸りが違ひます。尚驚く可きことは、上海卵と上等の地玉とでは、大さが同じでも内容に於て極めて多大な差があることです。同じ大さのもので卵質の濃厚と稀薄の關係からして一方は八の内容があり、他は十丈けの内容があるとすると、其得失の差は大きいのです。

△死んだ玉子と生きた玉子との外見上の區別　はと申しますと、これは一寸六ケしいので、私が自園の見習に敎ますにも、相當な苦心と努力とを以てしまして、容易に理解し難い位なので御座います、次に述べます事柄の中何づれ一つなり共御解りになれば、私はそれで滿足致します。内地産の新らしい玉子は先づ一と目見て卵殼が生新の色澤を帶びて居ります。丁度淺草仲見世から買つて來たばかりの人形の顔のやうな色澤です。此の色澤にも二タ通りありまして、或種の鷄の產んだ玉子は卵殼が滑かで、奥の方に和かい光を持つて居ますし、或鷄の產んだ卵は、白粉で御化粧をしたやうに粉つぽく見えます。又古い玉子は何となく汚れが着きまして、生々した色と澤とがありません。一層惡い品になりますと卵殼の表面に厭な上つ光りが御座います。それが丁度小供達の手に弄られた古い人形の顔の如な光澤を持つて居ります。これらが外觀上の新古の區別です。これは内容の點で申ますと、新らしいのは割つた時、先づ黄味は丸く高まつて居て、鮭のはらゝ子の一粒々々の様にクルリツとして光つて居ます、箸で挾んでお團子の如に口へ入れられます。古いのになりますと、小皿の上に落しますと卵黄膜に力が無い爲に延びて了ひます。こんな玉子は一寸觸つても黄味が散ります。これは玉子が死んで居るばかりでなく、緩漫な變化を起して居ります。生のまゝ飲むなどは危險至極のことです。一體玉子を生食する塲合卵黄を箸で挾んで口へ入れられなかつたら、生では食べぬと云ふ位に心得て戴き度いと思ひます。

正月の料理

柳葉清子

お客様にお重詰めと屠蘇を出しますは普通の事として一寸趣向をかへて各家に有り合せの材料を以つてお正月のお料理を作つて見やうと思ひます。

一、向附（たらの雪漬　しぼり生姜）
一、椀盛（黄金えび　鴨の笹身　揃へ三つ葉　口柚子）
一、香の物（小かぶ　奈良漬のうり）
一、焼肴（生鮭のてりやき　巻れ昆布土佐煮　紅生姜）
一、御飯
一、口取（春山かまぼこ　伊達巻き玉子　松竹梅）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

料理法（五人前位にて）

△向附材料 鹽鱈片身、道明寺粉中袋、味淋三合程、生姜少々

先づ鹽鱈の腹皮と中骨とを去り少し厚目に笹切りに切り、暫らく水に漬け、凡そ鹽氣のぬけた時分に上げて水氣を去り、深目の器に一切づゝ並て其の上に道明寺の粉をふり、また切身を並べては道明寺の粉をふり、其の上から前の切身の上につく程度まで味淋をかけて、目張りをして二三日其のまゝにして置きます。皿に盛ります時は五切又は七切位ゐ盛り、其の上に生姜のしぼり汁を少しかけて出します。

△椀盛 材料 車海老五尾、玉子二個、鴨上肉中羽分、三ッ葉三束、松魚節、味淋、醤油、鹽少々、柚子一個。

車海老の頭を去り、皮をむき、(但し尾は付けて置く)これに眞直ぐになるやうに串を指して鹽湯でゆで、串をぬく、更に縦に庖刀を入れ水氣を去り、再び串をさし、これに玉子の黄味をぬつて、こがさない程度の火にかけて乾かす事を再三くり返します。

鴨の肉を笹切にして二番出しに醤油で淡味をつけたもの丶中で煮込みたるものを三切乃至五切位ひ椀に盛ります。

三葉はうで丶二寸位ゐの長さに揃へて切つて適度に盛ります。これに口柚子を入れて出します。出し、口柚子は本紙三號を參照して下さい。

△香の物 材料 小かぶ少々、なら漬けの瓜

小かぶは、ぬか味噌漬けを二個位、奈良漬二切位ゐを用ひます。

△燒肴 材料 生鮭切身五切、昆布三枚、新生姜五本、味淋、醤油、砂糖、酢、鹽少々

醤油一合に味淋少々混せたる中に鮭の切身を入れて半日程置き、これを遠火にて焼き、これに「てり」を付けて又焼きます。

「てり」は醤油一合、味淋一合、上等の砂糖を少々加へこがさぬやうにこれを半分位ゐの分量になる迄で煮つめたものです。

重ね昆布は昆布を柔かになるまで茹でこれを巾二寸位ひに切つてこれを七枚位ゐ重ね三所ばかりを竹の皮でしめ、これに出し、醤油味淋、砂糖を加へ、とろびで少なくとも三時間程煮ます。つゆは充分に昆布の上につく様にして置いた方がいゝでせう。盛る時は小口切一切をつけます。

紅生姜は（本紙一號の筆生姜の製法と同じ。）

△口取 材料 きす大を五本、栗、葛少々、玉子二十、五十目位ゐの鯛一尾、さより五本鹽松茸五本、くわゐ十個松葉柚子少々、味淋、鹽、砂糖、酢、醤油、三葉三束、美濃紙一枚。

春山かまぼこ。きすを三枚におろして骨を去り、よく打ちこれを摺鉢にて摺り、これににきり、鹽を加へて味をつけ、更に裏越しにかけて板につける。春山は裏越しにかけたる肉少しにうでたる栗を摺りたるを裏越しにかけ之れを加へてよく摺り混せ前に板につけたる肉の上部にかけセイロにかけて蒸し上ます。（魚屋にもあります）

伊達巻き玉子は玉子十個を割りて摺鉢に入れ置き之に鯛を三枚におろし骨皮を去り、よく打ちたるを加へ、にきり、醤油、鹽にて味をつけ、玉子焼きにて天火をかけて焼き上げ、さめぬ内に鬼スダレに美濃紙をひき其の上にあけ、玉子の上へ丸き棒を入れ、スダレと共に巻いて置きます。餘の十個の玉子に砂糖、味淋、出しを少々入れてイリ玉子にして裏越しにかける。さより三枚におろして、骨皮を去り、酢五勺に鹽少々加へたる中に入れる、次に三葉三束を茹で、水に取り、水氣を去る。而して前にスダレに巻いた玉子を解きて、棒を去り、煎り玉子をこれに載せよく押へ、其上にさよりの鹽酢につけたるを引き上げ、水氣を取つて二筋に並べ、その傍に先きの三葉を同じく二筋に並てスダレで堅く巻いて紐で結へて押しをして置きます。小口切にして厚切一切盛りです。

松竹梅は、鹽松茸を縦に適度に切り水に漬け置き鹽氣を去りて茹で、水氣を去りてあちやら漬け（本紙前載）にします。松葉柚子は青柚子の皮を小口切りにし、水につけあくを取りて茹で、それに生酒、ザラメ、砂糖、鹽にて適度に味をつけます、（但し罐づめにもあり）

くわゐ十個を梅形にむき、内五個を紅にて色をつけ、（紅梅）紅白を分ちて、鍋に入れよく茹で、白味淋、砂糖、鹽にて、てりの上る程度に煮上げます。皿に盛る時には春山かまぼこを向ふに、其の次に伊達巻き玉子、前盛りに松茸に柚子、白紅のくわゐを混せ盛にします。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

迎年準備の早手まわし

工學博士夫人 田中芳子

△十一月迄に整理

幾年か繰り返す事で、色々前から心掛けては手廻しをして居りますが、此の十二月の月と云ふものは思ひがけない用事が起るものですから、裁縫等のやうに前から定つて居ります事は、すべて十一月中に全部をやつてしまひます。そうして十二月には一年中の計算をしたり、又前年に立てた計畫の良否を反省するとか、或は子供の教育がどうであつたか、と云ふやうの事について細かく考へ、それから來年の計畫を作るといふ事を、此の月の最も大きい仕事と致して居ります。

△贈答の不經濟

一般家庭で暮の忙しい時に、最も多くの時間と勞力とを費すのは歳暮の贈答と云ふことです。けれどもこれは全く只今の處では虚禮に流れて居ることで凡ての點に於て不經濟の事が多いのです。それで私共は出來るだけやらずに濟ませる方法を取り度いと思ひまして種々考へた末友人親戚等とは年二回、春と秋とに五十錢から一圓位の程度の會費で、親睦會を開く事にいたしました。それで一日を眞に愉快に過して、中元も暮もお互に失禮するといふことにして居ります。けれども進物が是非しなければならないやうな處がまるで無いとは申されませんが、それも一年中買ひためて置きましたものか、又は自分で造りましたもの等を進物に用ひますのですから、十日から廿日迄の間に全部濟せます。

△子供の成績に注意

廿五日は子供等も學校がお休みになりますから、その日には子供を集めて年内に子供のした事とか學校の成績等について、注意したり尙ほ長所を賞めたりして、幼い頭にも過去を反省させ、新らしく迎へる年の準備をもさせるのです。次に掃除ですがこれは春秋の大掃除は勿論として毎月一回づゝ丁寧に致して居りますからほんの手まはりの整理位ゐで濟んしまひます。お正月の御馳走は廿九日に仕度を調へて、三十日に全部やつてしまひます。三十一日は床の間の飾りつけを致す位ゐの事で、何にも外に仕事が無いやうにして置きます。

△年始狀を毎日書く

年賀狀と申しますのは一度にためて置きますと非常に時を費しますし、印刷したものを人樣に差し上げますのは、何だか輕薄に過ぎるやうな氣も致しますので、自分で書いて差し上げやうと致しますが澤山のものを一度に書くとなりますと同じ樣な變化の少ないもので飽たり時間を費したり致しますから本年から毎日一枚づゝ書きためて置くといふ事にして實行致して居ります。唯一枚づゝ書くと云ふことではしかたがありませんが私はお習字のお稽古を致します積りでやつて居るのでございますが、それが果して最善の策かどうかはまだ經驗最中の事で申し上げられません。

書類の整理

△整理は主婦の役

私共では主人は二三の會社と銀行の重役をして居りますのに、別に番頭と云ふ樣な者も居りませんから、自宅の方にある書類や手紙等の整理は私が致します。主人は忙しいので、時々大事な書類を出したまゝで外出したり、來た手紙を見放しで出ます事もありますから、來客のあつた跡と主人が外出した跡とは必ず私が一應見廻りまして手紙や書類があれば必ず手箱に入れておきます。

△手箱と書類簞笥

手箱にはその日一日中に受取つた書面や書類を入れておきまして夜分やすむ前に、悉くそれを出して區別して書類簞笥に入れます。書類簞笥の引手の處には目錄を書いてはさむ樣になつて居りますからその紙に區分を書いておきます。私どもでは、定款、契約書、何々會社關係、何銀行關係、名刺、書簡等に區別しておきます。斯うしておきますと、主人から何年の何會社の定款を持つて來いと云はれましても、言下に持つて行く事が出來ます。私は岩野さんの贔負をするのではありませんが、清子さんが岩野さんの事を評して、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

岩野と云ふ人は何でも直ぐに云ひ付けた事をしないと怒ると云ふ我儘な人だと云はれた事を記憶して居ます。又その不平が尤もの事であるかの樣に雷鳥さんも云はれました。けれど、男でも女でも云ひつけた事が直ぐに行はれない程氣持の惡るい事はありません。まして一家の主婦が主人から物を持つて來いと云ひつけられた時、それが見えなくつてまご〳〵して探して居る等と云ふ事は、私はほめた事ではないと思ひます。

△美濃紙の袋

話は橫道にそれましたが、私は斯うしてその日その日の書類を夫れ〳〵の曳出しに入れておきます。曳出しの中には美濃紙の袋をいれておきまして、それに何會社の定款とか何々會社何々關係とか云ふ樣に書いておきまして、それ〳〵の袋におさめておきます。

私用の來書は、手紙とはがきと別々の帖さしにさしておきまして一と月一と月にまとめておいて、一年の終りに其中の必要なものを一とまとめにして、何年度書簡として取つておき、不要なものを燒棄てます。そして一年の終に五年前のは重要なものを除いた外は、悉く燒き棄てる事といたして居ります。

△一年間は保存

手紙を整理するには、その日その日に不必要なものは破いてしまふ人もありますが、いらないと思つても思はぬ時に必要の生じて來る事もありますし、又用のないはがきの一片でも其れがその人の絶筆となる事がありますから、私は何でも彼でも一年は取つておきます。そして一年の終りに整理をして初めて不必要なものを燒棄てます。

請取類は請取ばさみに其の都度はさんでおきまして、翌月の一日に一まとめにしてしまつておきます。家を建てました時とか、家具とか建具とかいふ樣なものを作らせました時のは別にして一まとめにしておきます。これは他日の參考となる場合が大層あります。

（某會社重役夫人談）

暮に賣れ行く草花

△是から先は溫室栽培のものでなくては賣行が少ないが、シネラリヤの早咲の樣なものは五寸鉢一個で四五十錢位の高價です。

△ヴアイオレットの小盆養なども大分高價に賣れ行きます、ヴアイオレットはクリスマス頃に一花一錢以上もいたします。

△猩々木の紅染したもの、賣行もよいが葉牡丹の紅葉は又一層珍重されます。

△ケンテヤの青々したものやアスパラガスなど葉の綠を眺めますものも賣行がよいのです。

△千兩は切花にも向きますが盆養としては申分ありません。

△カーネションなど一花三錢から五錢位に賣行きます是れもコレカラ先は溫室咲がよいのです。

△バラの需要は何時も變りなく賣行きますけれども是から先の切花は一花でも三錢とか四錢とか謂ふ高價なものであります。

（千葉晩香）

主婦の手帳

▲お櫃入れ

おはちいれはそのまゝ用ゆる事は見苦しくらわり不潔でもありますから、少し面倒でも紙で張つて用ゐる方がようございます。四疊位に張つた上を澁で塗るか。漆で塗つて胡粉と金泥で畫を書いたのもおもしろいものです。

▲風呂敷の利用

旅行を度々する家では風呂敷がたまつて仕方のないものです。木綿の方はしまつておけますが、唐縮緬の風呂敷はしまつておきやうが惡るいと蟲がついて片なしになつてしまひます。華美な色の風呂敷は四つに切つて四つ身の着物の裾廻しにしますと、隅の方の染められた模樣などが裾の表に出ても、反つて奇抜なものが出來ます。

▲障子紙を剝がすには

障子の紙を剝がすには、紙の貼つてある方を表とし、棧の部分を刷毛でぬらして、しばらく經つて後下より上へと剝ぎあげれば奇麗に剝げます。

▲金屬の曇り

ニッケル、白銅、錫等にて作つたものゝ曇りたる時は、角の粉又は石灰を振りかけ、晒布にてよく磨けば美しくなります。

▲鼠に昆布

鼠の穴には昆布をつめておくとよいさうです。昆布を喰ふと鼠の齒がかけてしまふからです。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人の聲

□父の冷水浴

父は來年七十三になります。常に非常に壯健で永年の間毎朝冷水摩擦をして居りましたが、此の間御大典に參列の光榮に浴したのに感激して、京都の旅宿で御大典の第一日には冷水で齋戒沐浴をして參列しました。それが大變に氣持がよかつたと申して其れからは京都滯在中は毎朝冷水浴をしました東京に歸つてまゐつてからも引つゞいて毎朝冷水浴をします。御大典中は此の頃の樣に寒くもありませんでしたし京都の水は東京の水道の樣にさまで冷たくもなかつたでせうが木枯のふいて來た此の二三日東京の水道の水は手を切る樣に冷たうございますが父は冷い等とは申しません相かはらず冷水浴をいたします。

平常はお茶が大好きで一時間も人とお話をして居る間にお鐵一杯では足りません。從てはゞかりにも度々まゐります。夜分は少くも五六度は通ひましたが、御大典に參列する爲に、十一月の四日から湯茶は御飯の時に湯呑に一杯ときめました。處が御大典參列中少しもはゞかりにまゐるわづらはしさがなかつたと申して歸京後もお茶は日に三杯ときめてしまひました

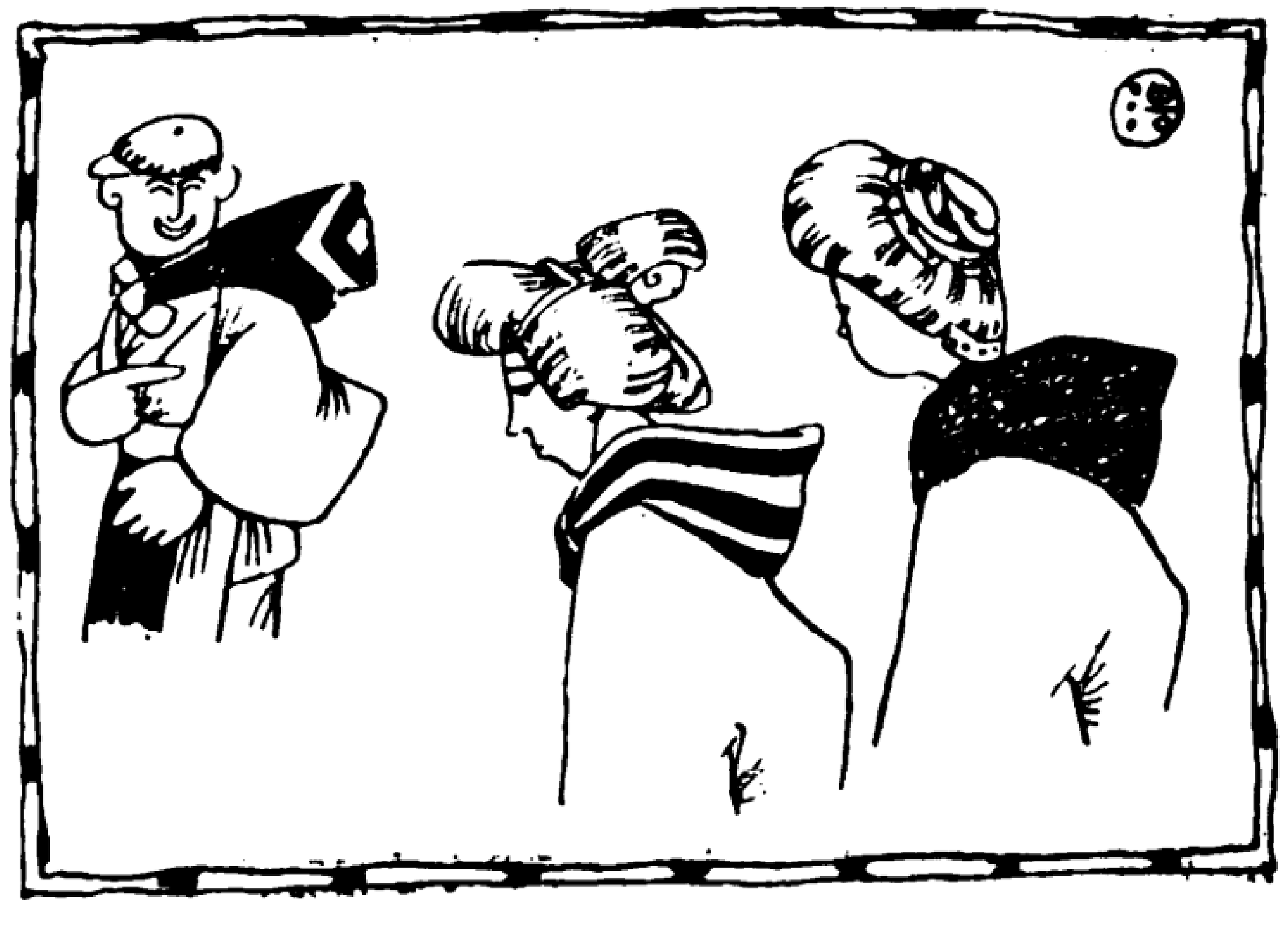
此の頃は夜分は一回もはゞかりにおきません。父が御大典參列の土産は此の二つの事柄でしたが、若い私達にも年寄の持ちかへつた此の土産が大きな敎訓となりました。（かよ子）

□無信仰の不安

或る醫者が斯ういふ話をしました。『今日亡くなつた子供の親達は熱心な基督敎信者でした。其の子がもう最期と云ふ時に母親が傍へ寄つて、あなたは神樣のおそばに迎へられて行くのです。天國に行つたらおとなしくして待つていらつしやい。お父樣もお母樣も直きに行くのですからと云ひました。その子は未だ五つですが、意識は最期迄鮮明で「え〵、え〵」と二度、ハッキリと返事をして息を引きとりました。』と話して聞かされました。不幸にして信仰を持たない私は、自分の子がもう七八分助かる望がないと云はれた時、滅茶苦茶に泣いて悲しんだ時の事を顧みない譯には行きませんでした。（華）

▲襟巻と丁稚▲

山の手ではまだ左程見受けませんが、下町へ行きますと婦人が襟巻を背中へチヨコナンと載せて歩いて居ます、妙な事が流行るもので はありませんか、襟巻と申しては或は時代遲れかもしれません、その背負つた恰好は宛ら丁稚小僧の風呂敷包を他愛もなく背負つた形に似てゐると誰かゞ申しましたがさう思ふと一寸珍妙に見受けられます、何はともあれ今年の流行界で一番目立つのは此の種類の襟巻のやうであります。



□講習會と芝居見物

講習會などに參りますと、毎日出席する人の顔などが、常に違つてゐますので、殆んど御挨拶する必要がございません。けれども芝居へなど行つて見ますと、種々知つた方にお目にかゝります。こんなお方まで芝居見物にゐらつしやるかと驚かることがあります。これは日本婦人がいかに研究心に乏しくつて、物見遊山に熱心であるかを證明して居ると思ひます。各種の講習會や研究會に日本婦人が好んで出席するやうになる日の來らんことを望みます。（よし子）

新刊紹介

銀と藍（日向きむ子著）

日向さんが最近に物された「異生活」を初め、折々の感想文や小品を集めたのが本書である。銀と藍とは日向さんの最も好きな色でこれを見てゐると愁を忘れ、言ひ知らぬ慰めを感ずるといふ。序文に「どんな時にも消えずに褪ずに殘つてゐた此二つの色が、年毎に月毎に漸々濃く私を染めて、遂に私の色を定めた」と言つてゐられるのは、其のためである。

日向さんの才華は全巻に溢れてゐる中に、矢張最も讀者を引着け

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るのは、卷頭の「眞生活」であらう。これは日向さんが有らゆる世間の誤解に對する辯明である。新聞や雜誌で「人中に立つてゐる私の幻のすがたは、白粉をつけられたり、べら〳〵した着物を着せられたり、貴婦人に祭りあげられたり、蛇夫人などゝいふ恐ろしい名をつけられたりした…三越や白木には足ぶみさへしない者が、着物に數百金を費すやうに云はれたり甚しきは香水や牛乳の風呂に入るといふやうな馬鹿らしい噂がさも眞實らしく傳へられるやうになつた…私はそんな物を幾度か見聞してゐる中に貴婦人と云ひ、虛榮婦人といふ華かな美しい而して浮薄な日向欽子といふ者が、何處か外に生きてゐるやうな氣がして、自分の事とはどうしても思ふ事が出來なくなつた」と輕佻浮薄な新聞雜誌に痛棒を喰はしてゐられる。

最も面白いのは日向さんの家に入つた盜人の記事である。盜人に對して基督教を說き、之れを正心に立ち歸らしめやうと努めるあたり、日向さんの面目が躍如としてゐる。「そして正業につくまでの食費として參圓を寄附した。」「最早盜人ではないのだから、屋根から跡る事はない、玄關から下駄を穿いておかへりなさい」と。吾妻下駄をはかせて表の門まで送つてかへした」と記されるあたり、いかにも面白く讀まれた。これが新聞で種々に揣摩臆測されて、公判廷で、盜人を構ふやうな態度を見せたのは怪しいといふやうに書かれたのである。

要するに本書は日向さんの眞面目を語り凡ての虛飾を脫した其の眞生活を見せたものとして、大に江湖の歡迎を受くべきであらう。
（定價八十五錢、麴町區三丁目丁未出版社發行）

●醒めたる女（坪井道遙譯）
本號第一面に本書に對する感想を載せましたので、紹介は略します。
（定價壹圓、京橋區南槇町廣文堂書店發行）

編輯室より

▲本誌が前號から主張しつゝある女湯改良は、非常に讀者の贊同と喝采とを博し種々の意見や後援の言辭を寄せられる方々が澤山ございました。紙上で其總てを公表する事の出來ないのは遺憾ですが、其中の二三を第四面の下に採錄いたしました。私共は今後とも此主張の貫徹に努むるは勿論、其實行に一歩〳〵進んでゆきたいと思つてゐます。何卒讀者諸姉も此主張の宣傳と實行とにお努め下さいませ▲次號には、近來我國の新しい年中行事の一である「クリスマス」に就て趣味ある記事を掲げます。而して本月卅一日發行すべき第九號は、特に元旦號として、大正五年一月一日發行といたします。本誌の內容は來るべき新春に於て、益々發展、充實し、以て皆樣の御愛顧に反かぬ樣にいたします。▲「あなたは加藤友三郎さんのお宅ですか」と或る日の事編輯室の電話にかゝつて來ました。それから調べて見た處、番町四五六六番の電話は本社で貰受けるまで、現海軍大臣加藤中將のお宅のそれであつた事が判りました。鳩の家と呼ばれる此編輯局が、八並遞信大臣秘書官の住んでゐた家であつたと云ふ事と關聯して、いやに現內閣の人々に緣故があると同人は言ひ合ひました。

購讀者諸君へ

購讀料をまだ御拂ひ込みにならぬ方は、どうぞ御願ひいたします振替は東京三一六六〇番ですから之れを御使用下されたが御便利です。振替御使用の時には、取扱料として一錢餘分に御拂込み下さい。

社告

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に悩める男女に同情し、精神上、生活上、職業上其他有らゆる相談に應じ、無料にて最も善き解決を與へます。但し費用を要する御相談は實費を申受けます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依賴者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外、午後零時より、午後四時迄です。

顧問
衆議院議員 文學士 小山東助
辯護士 法學士 杉山賢三
法學士 高田愼吾
婦人週報主幹 小橋三四子
主任（前讀賣新聞身の上相談主任）松本雲舟

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社內
人事相談所
電話番町四五六六番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

■最近の發明品■

◎姿を美しくする帶上げ止め

定價三十錢ヨリ

生れつき姿の惡るい方でも帶を上手にしめると見違へる様に恰好よくなります誠に婦人の姿は帶の形ち一つで御上品にも「しだら」なくもなりますが、さて帶を上手に締めると云ふ事も簡單の様で中々六ヶ敷事で十中の八九は「おたいこ」が「だぶ」ついて見苦るしくなつて居ります之れはつまり帶上げが下がるからであります然るに本品を御使用遊ばさばどんなにしても帶上げの下がる事なく「おたいこ」の形ちも締めたまゝに「きちん」となつて常に後ろ姿が美くしく保たれます、のみならず帶上げを高く脊負ひ上げられますから一般に丈の低い日本婦人には帶から下が長く見えて肩、脊中、帶の調和が誠によく姿が「ほつそり」見えます、又衞生上本品をお用になれば帶上げで胸を締めつけないでも濟むから呼吸が自然で女子本來の呼吸（即ち胸式呼吸）を完全に營む事が出來ますつまり内臟（肺、心臟、胃等）の機能を十分に行ふ事が出來る理けであります、故に衞生上極めて理想的の品であります。（時節柄「クリスマス」及年末の贈物には新らしい氣のきいた品であります）

■販賣店■

三越呉服店
白木屋呉服店
松屋呉服店
松坂屋呉服店
大西白牡丹
小間物問屋 万新商店
同 富士喜商店
本社代理部店

クリーニング

ドライクリーニングとは一滴の水をも用ひずして毛織仕立物は勿論和服は絹布其他綿入れのまゝ如何なる汚れも美麗に殆んど新調同様にするのであります。

特長　一地質を損せぬ事二變色伸縮せぬ事三型が少しも崩れぬ事四殺菌消毒の効力ある事五如何なる汚れも綺麗になる事六光澤を一層大ならしむる事

染色　佛國式の染方を致しますから堅牢優美に保險付の染色でありますゆゑ如何に變色したる御品も殆んど新調同様になりますから御試しを願ひます

特色　最近輸入の機械と最新の學理と卓越せる技術を以て親切丁寧に御約束を違はず迅速に御取扱ひ申候

婦人洋服、同白地及ポンジー、スカート、同ドレス、同ポンジー、夜會服、ブラウス、帽子駝鳥毛、ボーア、マツフ、スカーフ、ショール毛皮襟巻、白皮及絹靴下、吾妻コート、御召コート、白無垢、御召綿入、同袷、同單衣、帶、縮緬腰巻、同袖、半襟、洋傘

◎此外如何なる御品でもクリーニング並に染色が出來ます

和洋服 羽毛皮 敷物窓掛　クリーニング（無水清淨）　染色　レッシング（洋服皺伸シ）

各國大公使館御用帝國ホテル御用

日比谷クリーニング商會

本店東京日比谷公園停留場際（電新三一〇八番）

支店　東京赤坂區田町五ノ八（谷戸坂）　横濱市元町一丁目　大連伊勢町十六（電話九五二番）

（御一報次第參上御用相達可申候）

院長診察月、水、木、
林、峰間兩副長は
麹町區三番町三十番
電、番六二番
東
院長 醫學
電話ちがさき二番
相州茅ケ崎海濱
河野、高橋兩副長
院長診察土曜日

婦人週報讀者
特價提
米國シンガーミシン
家庭
體裁優美に
裁縫刺繍に
特製
裝飾用に
キヤビネ
新式
外に和服裁縫
ミシン
種類及定價
の方は婦人
申込を乞ふ
婦人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

…金午前
目下當院に在勤
…地(市ケ見附内)
…洋内科醫院
…高田畊安
南湖院
(從停車場半里)
は目下當院に在勤
午後、入院診察後應需

…に限り
…供!!
會社
用ミシン
…にして和服
…に最も適す
…ポツト型及び客室
…にもなる
ミシン
に最も適する
…ン數種
表の目錄御望み
週報社へ直接御
週報社代理部

護謨製氷枕
左の特價で御取次をします
品は御請合致します。
大 四十五錢の處 特價參拾五錢 送料貳錢
小 四十錢の處 特價參拾錢 送料貳錢
婦人週報社代理部

家庭園藝苗物提供
伊勢撫子苗 花銘付三本壹圓(送料共)
同 同五本壹圓參拾錢(同)
同 雜五本壹圓(同)
麝香撫子苗 赤白 一株貳拾五錢(送料共)
伊勢撫子は變化に富み且つ色彩豐富にして本邦の草花中最も優美なり、麝香撫子は色彩艶麗にして芳香無比なり
長くも 先帝陛下御鍾愛し賜ひしは此伊勢撫子なりと拜承す
婦人週報社代理部

產科 婦人科 小兒科
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
女醫 井出茂代
電話番町三六七七番

齒科
ドクトル 富田貞一
電話浪花五四〇五
日本橋區高砂町六
(久松町停留場より西一丁)

入院應求
院長ドクトル 淺田繁太郎
淺田小兒科醫院
芝區田村町十六
(電話芝三二二七番)

◎產婦人科
◎小兒科
宅診午前 往診午後
病室、產室ノ設ケアリ入院ノ需ニ應ズ
院長 女醫 吉岡彌生
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院
電話番町二二五七

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

岩野清子夫人著
愛の爭鬪

性と愛とに、なやまれたるの記錄

にして、世界の驚異に價すべき、著作なるを信ず。智識ある人々が深き思慮をもつて、本書を讀まれんことを希ふ。著者の其の高貴なる經驗は、やがて、日本を救ふに到るべきはずのものなれば也。

價一圓廿錢

相馬御風氏著
我等如何に生くべきか

眞に自己にとりての、眞に我みづからの爲めの問題

はないのか。今日は**ベルグソン**から明日は**タゴール**へ更に又明後日は何の某へと移り歩いても、少しも自分の生活に破綻も苦悶も起らないやうな生活でない、もつと差し迫つたそれをどうにかしなければ、一日も心靜かに生きて居られないやうなもつと切實に人間生活のどん底にぶつかるような思想を生む人はないのか――著者

價九十錢

發賣元　東京神田　合資會社　東京堂書店　振替東京　一二〇七〇番

〔愈よ出づ〕

◉ 日向きむ子著

銀と藍

(□四六判美本□定價八十五錢□送料八錢)

▲新聞雜誌記者の無責任を戒たる勸告狀

眞生活告白文

是れ當代の才媛日向女史が全生命を披瀝せる告白文也回心錄也。彼女はこれを表象するに銀と藍との色彩を以てせり。銀色の月光、藍色の海は常に彼女の悲哀を慰め、その憂愁を散ずるが故也。思ひ設けぬ災禍に逢遇せる彼女が、凡ての舊生活を脫して簡易なる生活に歸れる消息を初め、眞摯赤裸の立場に戻りて自己の生涯を改造せんとする彼女の苦心と努力とは、其の艶麗なる筆を以て本書の裡に躍如たり。獄裡に最愛の夫を送れる妻心、子女を抱いて侘しく暮す母の想ひに同情あらん人は本書を繙きて其淚を注ぎたまへ。

發行所　東京麴町三丁目　振替東京七八四七　丁未出版社

國論

十二月號出づ

第一卷第七號

▲大隈宰相に與ふ……鴨外生

▲天誅を恐れざるか……飯田主筆

▲政友會大會に臨んで……原敬

▲國を誤る現內閣の秕政……仲小路廉

▲減債資金に就て……高橋是清

▲吾黨の方針……犬養毅

例に因つて筆鋒精鋭
現內閣の秕政を糺彈す

大賣捌所　北隆館　丸善書店　東京堂　東海堂　京華堂　明良堂

大正四年十一月四日第三種郵便物認可
大正四年十二月十日發行

本紙定價　一部金四錢五厘(郵送料共)　半年(廿六部)前金壹圓　▲三月(十三部)前金…　▲一年(五十二部)前金…

主筆 別所梅之助

護教

▼毎週金曜日發行▲見本贈呈

▼定價 一部 四錢五厘(郵税共)
三ヶ月 五十五錢(同)
一ヶ年 二圓(同)

▼本誌は明治二十四年の創刊に係り、日本基督教會三大機關紙の一つなり。

本誌の内容

▲社說は時事問題其他の眞摯なる主張にして▲講壇には内外名士の名論卓說を掲ぐ。又▲研究及び想苑は諸般の眞面目なる論究にして▲信仰之友に於ては美しき信仰生活の反映を見るべし。其他▲集錄▲藝苑▲家庭の諸欄ありて趣味と教訓とを兼ね、信徒、求道者及び一般修養に志す者の好伴侶、好手引たり。尚全國一般の教勢を知るに便す▲本誌の編輯は別所梅之助・倉長巍・石坂龜治其他の數氏是に當り▲寄稿家には、平岩愃保・高木壬太郎・山田寅之助・山鹿旗之進・吉崎彥一・舟橋雄・釘宮辰生・三浦泰一郎の諸氏ありて之を助く▼

護教附錄

傳道

▲毎月一回、第一金曜日發行の護教に附錄として添ふ。
▲されど、附錄のみの注文(但十部以上)に應ず。定價左の如し。

定價(郵税共)
十部 十二錢　廿五部 二十五錢
五十部 四十五錢　百部 八十錢
二百部 一圓四十五錢　三百部 二圓
五百部 三圓　一千部 五圓五十錢

▼傳道は四頁の月刊附錄にして、平易なる神學、信仰實驗談、及聖書の簡易なる講義等、内容に富み、趣味を兼ね、求道者及び傳道用として眞に好適なるものなり。今回豫想以上の部數を出だすに至りしを以て、紙質を改めると同時に定價を減じたり。

發行所
東京赤坂區青山南町五丁目四十五番地
護教社
電話芝四二六五七六九九番
振替東京

麴町區飯田町五丁目五番地
大關看護婦會
會長 大關チカ

▲袁世凱の機敏なる惡辣外交……記者
▲議會に於ける乃木問題の大勢……杉山四五郎
▲對支外交の根本的失敗……長島隆二
▲世界の伏魔殿なる支那……高橋琢也
▲愛身忘國……大岡育造
▲内田良平氏の大典賀表……
▲開け動け……冷頭迂人
▲安んぜよ隣邦民……峯岸退耕
▲選擧を無効なりと宣告したる名古屋控訴院の判決は正當なり……添田增男
▲大正維新論を讀む……北原龍雄
▲上前大浦内務大臣書……今田主税
▲乃木家再興問題に關し牧野學士に問ふ……宮島次郎
▲かるた競技會を觀る……有樂齋
▲人を馬鹿にした藝者論……片々女史
▲お内儀さんと奥さん……遠藤瑞香
▲破障子と「第三帝國」……退耕子
▲小說「彼女の疑惑」……小川蘆葉
▲活辯の自叙傳……亂菊生

金田秋香先生書
大正女子消息文
和裝全壹册
定價金四拾五錢
郵税金四錢

手紙を巧く書くのは人生成功の捷徑です。本書は一般の婦人及び女學生の爲めに、家庭における自習參考用として編んだものです。

社交にも實用にも手紙の大切と云ふ事は認めながら、「巧く書けない」「どうしたら書けるでせう」などゝ口癖のやうに發せられるのを甚だ遺憾に存じます。本書は作文と習字とを連絡一致させて實用を主とせる候文體を用ひ書體も假字を主としこれに行書もしくは草書を調和せしめて、女子に最も適切な書法を示してあります。

特に大正女子消息文の卷末に實體の假字を集め、手紙の心得、手紙の認め方等を說いて自習の便に供したるなど、本書を措いて他に比類少なきことゝ信じます。

山内香溪先生書
女子筆のたしなみ
和裝全壹册
定價郵税金貳拾四錢

金田秋香先生編
女子作文の栞
洋裝全壹册
定價金參拾五錢
郵税金四錢

文は社交の要具にして、その巧拙は處世の利害に及すところ甚だ大なりと感ぜらる一般の自覺に投じて最も劃切に編纂せられたるは此の書なり。書中書翰文より記事日記に至るまで、あらゆる種類の普通文を修め特に例文、參考文、範文を挿入して或は古人の雅文を修得せしめ、或は現時女流の大家はた名媛閨秀の作を味しむ。希ふ文を學はむとする者は一讀せられん事を。

樋口龍峽先生編
新体 女子書翰文
洋裝全壹册
定價金參拾錢
郵税金四錢

新体 日記文範
洋裝全壹册
定價金參拾錢
郵税金四錢

發行所
日本橋區鐵砲町三番地
榊原文盛堂
振替東京三〇九〇番
電話浪花三三二二番

五十四錢
前金貳圓

廣告料 一行金四拾錢 一段拾貳圓 一頁金六拾圓

東京市牛込市谷田町二丁目十七番地
婦人週報社
電話番町四五六六番
振替東京三一六六〇番